

# 夢窓幼稚園通信第25号

2018年6月29日

子どもたちは毎朝 おはようブックにハンコを押します、赤バッチさんにも、「きょうはどこ?！」と、幼稚園での最初の儀式を大切にしている子がいます。

ひとつひとつの大切な一日のせしモニーなのでしょうか。おひさまが昇ってきたことに、明るい朝がやってきたことに、ただただよろこべるように、その日の始まりを迎えているのかもしれませんが。

大人の私たちは どうでしょう。

家の壁に吊るされたカレンダーや、カバンの中の手帳やスケジュール帳に、たくさん予定が書き込まれている人も多いことでしょう。どうしても社会人として「する」人で生きない訳にはいきませんから仕方のないことですが、自然人として「いる」人として、季節と共にある生き方をも大切にしたいところです。

私のスケジュールとしてカレンダーに向かうだけでなく、暦そのものが語りかけてくるものに耳を傾けて過せないものかと思えます。

星々が注いでくれている響きに、母なる大地の願いにもう少し結びついた生き方ができないものか...!と。

子どもたちは おはようブックに新しい次の月のページが加えられると、きょううれしいに違いありません。

何か未知のことがやってくる、わくわくなのでしょう。

4月には桜の花、日々ながっていく緑の中を過し、5月はツバメ飛ぶ空を泳ぐこいのぼりに見守られそして声援をおくり、6月は紫陽花や雨上がりのどろんにあそび...そして、7月の夏迎え冒険の季節の扉が開きます。

遠い昔から人々が大切に積み重ねてきた、季節への思いの結晶が暦から流れ出し、心の中に広がります。

星々は冬の澄んだ空の方がよく見え、その神秘に触れることができるように思えますが、夏もまた七夕星まつりもあるように、宇宙の思いを馳せる季節なのではないでしょうか。

さあ7月がやってきます。ひとりひとりの「私」の中に展開する夏のビジョンが結びついて、未来の時をゆたかなものにするかとして働くことができますように!

うれしい1学期のしめくくりを、共に迎えたいと思います。

園長 針光泰雄